

輝く！万小の子

No. 1 H30. 5. 10 小中連携部

万石浦小学校は、昨年度まで3年間、「石巻市子どもの未来づくり事業・学習指導の改善を図る研修会」の推進モデル校に指定され、児童の心の成長や人間関係づくりのために、様々な取組を行ってきました。この「輝く！万小の子」では、その取組や子どもたちの成長の様子、研修会の講師である広島大学教授の栗原先生のお話などを紹介していきたいと思います。

ピア・サポート

ピア・サポートというのは、あまり聞き慣れない言葉だと思います。「ピア」は「仲間」、「サポート」は「支える」、つまり「子どもたちが互いに支え合う活動」のことを意味しています。上級生が下級生のお世話をしてあげることもピア・サポートです。

この活動を通して、困っている友達や下級生を支えてあげようとする優しい気持ちを育てると共に、どのようにして支えてあげたらいいか、行動の仕方を学ばせています。

今年は、シンボルマークとなるキャラクターを設定しました。また、運動会の中でもピア・サポートを行っていこうと、各学年のめあても考えました。運動会の中で上級生が下級生を支える姿や、友達同士助け合う姿などをご覧になっていただきたいと思います。



子どもが考えたキャラクター
「助太郎」と「ピア・サポートマン」



運動会のピア・サポートのテーマ

※過去にはこんなピア・サポートの活動も（しおかぜ祭りで下級生のお世話をする上級生）



交流欲求を満たすことの大切さ

子どもの欲求には3段階あると言われています。下位のものから「交流欲求」「承認欲求」「影響力欲求」です。

交流欲求：相手との関わりを求める欲求

承認欲求：相手から「よくできたね」と認められたい欲求

影響力欲求：周囲に対して自分の影響力を発揮したい欲求



下位の欲求が満たされると、上位の欲求を満たしたいという思いをもつ、というように段階的に欲求のレベルが上がっていきます。小学生は、交流欲求や承認欲求の段階だそうです。



ここで気を付けなければならないことがあります。それは、交流欲求を満たしたいと思っている子どもに、「よくできたね」という承認欲求を満たすような言葉掛けをしてもあまり効果がないということです。

交流欲求を満たしたい子どもは、集団生活の中でも、教師や周りの子に構ってほしくて、ほかの子とは違った行動をすることが多くなります。時にはそれが、学習の妨げになることもあります。



では、どうやって交流欲求を満たしていけばよいのか。第一は何といても家庭での触れ合いだそうです。

よく、「甘やかす」とことと「甘えさせる」ことは違う、「甘やかしてはいけないけど、甘えさせるのはよい」などと言われます。

▲甘やかす：子どもができることを親がやってしまう。安易に子どもが欲しがる物などを買い与える。

◎甘えさせる：①話を聞いてあげる。②スキンシップをとる。③子どもの気持ちを受け止める。

家庭で十分「甘えさせる」ことが、子どもの交流欲求を満たしていくことになります。仕事や家事で忙しい中だとは思いますが、ほんの少しでも子どもの話を聞いてあげたり、スキンシップをとってあげたりしてほしいと思います。

学校でも、交流欲求を満たすための様々な活動を取り入れています。その一つが協同学習です。ペアやグループで一緒に問題に取り組む中で、子ども同士の交流を促しています。

交流欲求が満たされた子どもは、今度は「よくできたね」と認められようと、一人で頑張ろうとする子に育っていきます。交流欲求を満たし、次なる承認欲求の段階へと子どもが進んでいけるよう、家庭と学校で力を合わせて子どもを見守っていきましょう。

